

文化財スモールDX

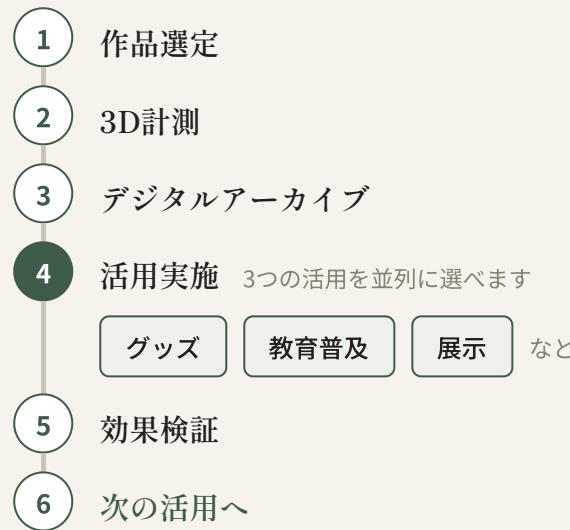
保存だけで終わらせない。
1作品から始める、新しい文化財活用。

文化財のデジタルアーカイブは増えています。けれど多くは「保存」で止まり、活用までつながっていません。文化財スモールDXは、1作品から小さく始め、保存したデータを活用していく考え方です。

◆ このような状況はありませんか？

- 活用してみたい収蔵品がある
- 保存だけでなく活用にもつなげたい
- DXを進めたいが、最初の一步が決まらない
- 大きな予算をかける前に、小さく試してみたい

◆ 導入から活用までの流れ



※ Duplicate-3Dでは、活用手法の一例として3Dプリントによるグッズ制作も支援しています。

◆ 文化財スモールDXでできること

- ☐ 1作品から始められる / 大規模投資は不要
- ☐ 保存したデータを活用資産として使える
- ☐ 段階的に拡張でき、成果を確認しながら次へ進める
- ☐ 活用方法を選択・組み合わせできる

実証実績

大阪市立美術館にて、複数の収蔵品を対象に文化財の3D計測およびグッズ制作の実証を実施。
(2026年5月)

小さく試して見えてきたこと

- ✓ 保存のための3D計測を、活用の起点にできる
- ✓ 1作品から無理なく始められる
- ✓ グッズ・教育普及・展示などへ展開できる
- ✓ 受注生産により在庫リスクを抑えた運用ができる

▶ まず、館内で話してみてください

「うちなら、どの1作品から始められそうか」

——まずは関係者で共有し、活用の可能性について話し合ってみてください。

Duplicate-3D | 保存だけで終わらせない

3D計測とデジタルアーカイブの専門サービス

さらに詳しい検討資料があります。詳しくは ▶ duplicate-3d.com/museum-dx

詳細資料 (6ページ版)

資料請求はこちら

